

第4次奥州市地域福祉活動計画パブリックコメント

ご意見の概要及びそれに対する考え方

1 在留外国人への福祉サービス支援について

| No. | 意見の概要 | 社協の考え方 |
|-----|--|---|
| 1 | <p>奥州市において在留外国人が増加しており、制度・言語・心理的な壁により、福祉サービスにつながりにくい外国人が少なくない。今後の外国人高齢者の増加も見据え、外国人に対応できる福祉人材の育成や通訳体制の構築を、計画の中で示すべきではないか。</p> | <p>ご意見は、地域の実情を踏まえたごもつともなものと受け止めています。</p> <p>一方で、第4次奥州市地域福祉活動計画においては、国籍や文化、言語の違いにかかわらず、地域で暮らすすべての人の「困りごと」に対応できる包摂的な支援の仕組みづくりを基本的な考え方として位置づけています。</p> <p>本計画では、特定の属性に着目して支援を整理するのではなく、重層的支援体制のもと、相談支援・地域づくり・関係機関の連携により、支援につながりにくい状況にある人も含めて、誰もが地域の中で孤立することのないよう取り組むこととしています。</p> <p>そのため、在住外国人への支援についても、特化した項目として計画に明記するのではなく、一般の住民と同様に、困りごとに応じて支援につながる仕組みの中で包括的に対応していく考えです。</p> <p>なお、通訳体制の整備や専門的な対応については、今後の課題として認識しており、関係機関との連携を含め、引き続き検討していきます。</p> |

2 地域福祉活動に向けた財源確保について

| No. | 意見の概要 | 社協の考え方 |
|-----|--|--|
| 2 | <p>地域福祉活動を持続的に推進するためには、拠点となる居場所の確保や運営費、高齢者の移動手段の確保など、活動の活性化に伴う財源確保を計画上、より明確に示すべきである。また、寄付金に過度に依存するのではなく、公共財源や他分野の制度も含めた財源のあり方を示す必要がある。</p> | <p>ご意見のとおり、地域福祉活動を継続的に推進していくためには、活動を支える財源の確保が重要であると認識しています。</p> <p>第4次奥州市地域福祉活動計画においては、サロン活動などの居場所づくりをはじめとする地域福祉活動を、今後も継続して取り組むべき重要な取組として位置づけており、引き続き重点的に進めていく考えです。</p> <p>これらの活動については、共同募金を主な財源として地域への助成を行っており、活動の実施状況や地域の実情を踏まえながら、助成内容や運営費のあり方については、その都度、見直し・検討を行っていきます。</p> <p>財源の確保については、今後の地域福祉活動を支える重要な課題として捉え、関係機関とも連携しながら、引き続き努力していきます。</p> |

3 地域福祉を支える人材の育成・活動環境の整備について

| No. | 意見の概要 | 社協の考え方 |
|-----|--|---|
| 3 | <p>共生社会の実現に向けては、地域福祉コーディネーターや民生委員とともに活動する、地域に寄り添う福祉人材の育成が不可欠である。特に「ご近所福祉スタッフ」体制の充実や、担い手が誇りとやりがいをもって活動できる環境づくりを、計画の中でより明確に位置づけるべきである。</p> | <p>ご意見のとおり、地域福祉活動を支える人材の確保・育成や、活動しやすい環境づくりは、今後ますます重要になると認識しています。</p> <p>第4次奥州市地域福祉活動計画では、地域福祉コーディネーターや民生委員・児童委員とともに活動する「ご近所福祉スタッフ」をはじめ、地域に身近な担い手を地域福祉の重要な支え手として位置づけています。</p> <p>今後も、ご近所福祉スタッフが安心して活動を継続できるよう、研修の充実や連携体制の強化など、活動環境の整備に努め、体制の一層の充実を図っていきます。</p> <p>人材の育成や活動環境の整備については、本計画に基づく実践の中で継続的に取り組むべき課題として、引き続き努力していきます。</p> |